

世界食料デー/国際イモ年 シンポジウム ～イモを通じて食料問題を考える～



食料価格の高騰に端を発して、食料安全保障問題が世界的な関心を呼んでいます。一方、第60回国連総会において2008年を「国際イモ年」とすることが決定され、イモ類の重要性を再確認するための機会となっています。今回、世界の食料安全保障をテーマとする2008年世界食料デーおよび国際イモ年の関連イベントとして、下記のとおりシンポジウムを開催します¹。

主催：(社)国際農林業協働協会 (JAICAF)

共催：国際連合食糧農業機関 (FAO) 日本事務所、在日ペルー大使館

後援：横浜市、全国農業協同組合中央会 (JA 全中)、全国農業協同組合連合会 (JA 全農)、ホクレン、日本スナック・シリアルフーズ協会、(独)種苗管理センター、(独)農業・食品産業技術総合研究機構、(財)いも類振興会、農林水産省

協力：国立民族博物館

日時：平成20年11月9日(日) 14:00~16:30 (受付開始：13:30)

場所：パシフィコ横浜 (横浜市) 会議センター5F 小ホール

横浜市みなとみらい1丁目1番1号 TEL：045-221-2155

みなとみらい線みなとみらい駅徒歩3分、JR・市営地下鉄桜木町駅徒歩10分

使用言語：日英同時通訳

入場料：無料

関連ホームページ：http://www.jaicaf.or.jp/news/iyp_sympto.pdf

プログラム (予定)：

- ・国際農林業協働協会会長挨拶
- ・ペルー大使挨拶

(1) 基調講演

- ・デービッド・ダーウ氏 FAO シニアエコノミスト
- ・ルイス・マエゾノ氏 ペルー国立ラ・モリナ農業大学学長

(2) パネルディスカッション「イモを通じて食料問題を考える」

- ・コーディネーター：山本紀夫氏 国立民族学博物館名誉教授
- ・パネリスト：山川 理氏 (社)農林水産先端技術産業振興センター研究第3部長
稲泉博己氏 東京農業大学国際食料情報学部准教授
千葉宏子氏 女子栄養大学栄養学部助教

¹ 日本においてはじゃがいもに加え他のイモ類についても対象にします。

おいもイベント

シンポジウム終了後、ペルーのジャガイモ料理の提供やイモ(ジャガイモ・サツマイモなど)の食べ比べがあります。会場では世界中の様々な種類のイモやイモの加工品の展示、写真パネル、資料などイモに関する情報が盛り沢山です。奮ってご参加ください。

参加申し込み：

配布資料準備のため、**11月5日(水)**までに以下の情報を記載し、郵送、e-mail 或いは FAX で事前に申し込んで下さい。

①氏名（ローマ字・漢字）②所属 ③住所 ④連絡先（電話・FAX・e-mail）

*申し込みが定員に達した場合は、参加をお断りさせていただく場合があります。

*参加受付のメール、参加証等はお送りしません。

◆申し込み・問い合わせ◆

(社)国際農林業協働協会 (JAICAF) 鈴木陸保 (調査専門員)

TEL : 03-5772-7880 FAX : 03-5772-7680

e-mail : bobsuzuki@jaicaf.or.jp

関連ホームページ : http://www.jaicaf.or.jp/news/iyp_sympto.pdf

参加申込書

「国際イモ年シンポジウム」

平成 20 年 11 月 9 日 (日) パシフィコ横浜 (横浜市)

(社) 国際農林業協働協会あて (FAX : 03-5772-7680)

〒107-0052 東京都港区赤坂 8-10-39、赤坂 KSA ビル 3 F

氏名	所属	住所	TEL/FAX/e-mail